

製品名: Robo2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17307**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | ROBO2 |
| 別名 | ROBO2; KIAA1568; Roundabout homolog 2 |
| 遺伝子 ID | 6092.0 |
| SwissProt ID | Q9HCK4 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト ROBO2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 237-286 |

背景

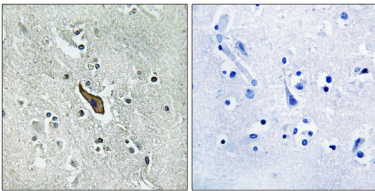
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ハエからヒトまで高度に保存された免疫グロブリンスーパーファミリーに属する ROBO ファミリーに属する。コードされるタンパク質は、slit ホモログ 2 タンパク質の膜貫通受容体であり、軸索誘導および細胞移動

に機能する。この遺伝子の変異は、膀胱から尿管または腎臓への尿の逆流を特徴とする膀胱尿管逆流症と関連している。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014年2月]疾患: ROBO2に関連する染色体異常は、尿管膀胱接合部欠損を伴う重度の両側性膀胱尿管逆流症 (VUR) など、複数の先天異常の原因となる。PCDH11Yとの転座 t(Y;3)(p11;p12)。この転座は ROBO2 を破壊し、in vitro で SLIT-ROBO シグナル伝達を無効にする優性負性 ROBO2 タンパク質を生成します。疾患: ROBO2 の欠陥は、膀胱尿管逆流症 2 型 (VUR2) [MIM:610878] の原因です。VUR は、膀胱から尿管への尿の逆流を特徴とする複雑で遺伝的に異質な発達障害であり、逆流性腎症を伴い、小児および若年成人の末期腎疾患の 15% の原因となっています。機能: SLIT2、およびおそらく SLIT1 の受容体であり、神経管の腹側正中線での軸索ナビゲーションやニューロン発達中の異なる領域への軸索投射など、細胞移動における分子ガイダンスキューとして機能すると考えられています。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。ROBO ファミリー。類似性: 3 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。類似性: 5 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。サブユニット: SLIT2 と相互作用する。

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



ROBO2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。